

最新刊



保育者が知っておきたい

子どもの歯と口の病気

知っておきたいこと

— その対応と予防 —

園での対応

保護者へのアドバイス

鶴見大学歯学部教授

朝田芳信

予防のポイント

A5判 / カラー / 117頁 / 定価 1,890円 (本体 1,800円 + 税) / ISBN978-4-7624-0685-0

主要目次

1. 保育とむし歯

- 1 最新のむし歯事情
- 2 母乳とむし歯
- 3 離乳期は育児の難所
- 4 卒乳と感染の窓
- 5 イオン飲料とむし歯
- 6 口腔バイオフィルムの知識
- 7 年齢からみたむし歯
- 8 むし歯と遺伝
- 9 子どもの酸蝕症

2. むし歯予防

- 1 歯磨き準備期
- 2 1歳6か月以降の歯磨きのコツ
- 3 歯磨きの習慣化
- 4 歯ブラシの選び方や持ち方
- 5 保護者による仕上げ磨き
- 6 フッ化物配合歯磨剤の使い方
- 7 フッ化物洗口
- 8 乳幼児期の間食
- 9 上手な菓子の与え方
- 10 代用糖の応用
- 11 6歳白歯のむし歯予防

12 歯は大切な臓器

- 13 シーラントについて

3. 口腔の機能

- 1 口の癖
- 2 おしゃぶりの考え方
- 3 指しゃぶりについて
- 4 口呼吸と口唇閉鎖不全
- 5 舌の位置と歯並び
- 6 幼児期前半の反対咬合
- 7 前歯の歯並びのすき間の意味
- 8 歯の交換期
- 9 子どもの歯ぎしり
- 10 子どもの顎関節症
- 11 ことばの発達と歯科とのかかわり
- 12 ことばの問題と歯科的支援

4. 歯科からみた食育の推進

- 1 歯の萌出からみた離乳食・幼児食の与え方
- 2 食べ方について
- 3 歯やあごの発育と硬いものを噛むこと

5. 子どもの虐待と歯科

- 1 被虐待児にみられる歯科的所見

6. 現場でおきやすい事故とその対応

- 1 乳歯が陥没した場合の対応
- 2 乳歯が欠けた場合の対応
- 3 乳歯の根が折れたかどうかの見極め方
- 4 乳歯が抜けてしまった場合の対応
- 5 家庭や園で起こる偶発事故

7. 保育者が知ってほしい歯や口の病気 14

- 1 リガフェーデ病
- 2 ヘルペス性歯肉口内炎
- 3 口角炎(口角びらん)
- 4 上唇小帯附着位置異常
- 5 舌小帯短縮症
- 6 萌出性嚢胞
- 7 歯肉嚢胞(上皮真珠)
- 8 粘液嚢胞
- 9 歯肉膿瘍
- 10 口腔カンジダ症(鷺口瘡)
- 11 癒合歯
- 12 低位乳歯
- 13 エナメル質形成不全症
- 14 象牙質形成不全症

上手な菓子の与え方

むし歯の成り立ちには、むし歯菌の栄養になる糖が必要です。では、菓子類はすべて糖が入っているから、「与えてはダメ」といい切れるでしょうか。

糖は脳細胞の栄養源として必要不可欠です。

また、3歳を過ぎ、園での集団生活や友達との遊びのなかで、菓子を与えないことは不可能といえます。とくに、友達の家でのおやつとり方には、保護者の目が届かないことも多いはず。

そのため、保護者同士が菓子など、おやつとの与え方に関して共通認識をもつことが、むし歯予防という点からも大変重要なことなのです。

むし歯になりやすい菓子と、なりにくい菓子をご存知でしょうか。

食品がむし歯をつくりやすいかどうかは、次の4つによって決まります。

- ① デンタルプラークをつくる力
- ② 酸をつくる力の強さ
- ③ 食べている間に作用する力
- ④ 食べ終わってからも口の中で作用する力

むし歯のなりやすさ(むし歯誘発能) = (①+②) × (③+④)

となります。

右表は、ランクでも

保護者

どの菓
歯予防を
る情報を



食品	①	②	③	④	合計
キャラメル	5	5	3	5	80
キャンディー	5	5	5	1	60
ガム	5	5	4	1	50
かじり	5	5	1	4	50
チョコレート	5	5	1	3	40
ケーキ	5	5	1	2	30

前歯の歯並びのすき間の意味

幼児期前半では乳歯がすべて生えそろっていないため、歯と歯の間にすき間がみられ、むし歯という点からは、清掃が容易で自浄作用が働くため、予防がしやすいといえます。

3歳ころにはすべての乳歯が生えそろうため、奥歯のすき間は閉じますが、前歯の歯並びにすき間がみられることが多くあります(写真→)。

この乳歯の歯並びのすき間は、異常ではありません。しかし、反対咬合(→p.58「舌の位置と歯並び」参照)など、咬み合わせに問題があるときのすき間には注意が必要です。

本来、乳歯の歯並びにみられるすき間は、永久歯が乳歯よりも大きいため、歯の生えかわりに必要なスペースです。これから生えてくる永久歯、とくに前歯が生えてくるときの場所を確保する大事な役目を果たしているといえます。

では、乳歯の歯並びにすき間がまったくなかった場合には、永久歯の歯並びはどうなるのでしょうか。

乳歯と永久歯の歯並びの関連性についての研究から、乳歯の歯並びにまったくすき間がない場合に、永久歯の歯並びに問題が生じる可能性は、67%という高い予測値になっています。逆に、前歯のすき間の合計が6mm以上ある場合には、永久歯の歯並びに問題が生じる可能性は5%以下ということです。

しかし、すき間がないからといって、悲観することはありません。よく噛んで、歯や口をしっかりと使うことであごは成長し、すき間ができてくることもあります。

